



フォトギャラリー



「雪だるま4兄弟」 撮影：吉田 孝宣さん



「南天」 撮影：香村 玲子さん



「第9回筋ジス病棟作品展示会」
撮影：横井 行雄さん



「病院の冬景色」 撮影：高畑 周子さん



国立病院機構下志津病院の病院ニュース「下志津」も発刊1周年を迎えました。政治・経済状況激変の中、医療の世界も厳しい状態が続きましたが、何とかこの1年間やってこれたのも、当院をご利用くださっている四街道市をはじめとする地域の皆様のご支援によるものと、深く感謝いたしております。

昨年は新型インフルエンザ対策に多くのエネルギーを使いましたが、インフルエンザワクチンの注射など、職員一同のがんばりで今までのところ大過なく対応できております。

平成22年も「医療崩壊」を招くおそれのある状況は変わってありませんが、当院が得意としている、小児喘息などのアレルギー疾患、リウマチ・膠原病などの難病、肝炎などの消化器疾患、糖尿病・生活習慣病、乳ガンなどの悪性疾患、骨・関節疾患の診断・治療に対して、地域の皆様方のお役に立てる病院として機能する覚悟です。そのためには当院をご利用くださる皆様に対する情報提供の役割を担う本誌の重要性はさらに増すことと存じます。本年も国立病院機構下志津病院の病院ニュース「下志津」をよろしくお願いいたします。

院長 吉田 孝宣

外科の紹介

外来部長
一木 昇

●診療内容について

下志津病院外科は、胃癌や大腸癌を中心とした消化器外科疾患と、乳癌に代表される乳腺疾患、また、ソケイヘルニアや内痔核・足趾の陥入爪などの一般外科疾患の診断と治療を主におこなっております。従来から消化器疾患を診断する上で、内視鏡の果たす役割は重要でしたが、近年、消化管ポリープに対してのポリペクトミーやEMRによる

切除術、あるいは消化管出血に対しての止血術など、治療の面でも内視鏡を使用した低侵襲の治療ができるようになりました。当院でも、胃・大腸内視鏡を使用した診断と治療を積極的に推進してきました。また、腹腔鏡下手術でも、従来の胆嚢摘出術にくわえて昨年度から大腸癌摘出術を始めました。また当科では、地域医療にも積極的に参加しています。胃癌大腸癌検診の二次精密検査事業に最初から参加をしており、現在では四街道市内の要精密検査者中、全体の

25%（胃癌検診）から35%（大腸癌検診）までに市民の皆様が当院外科を希望されて検査を受けられております。また平成17年より乳癌個別検診を、四街道市内で唯一の実施施設として初年度より参加し、平成21年度はまだ年度途中ですが、400名をこえる市民の皆様に参加をいただいております。

●スタッフについて

下志津病院外科のスタッフは、常勤医師4名体制で診療をおこなっています。現在、外科学会指導医が2名 外科学会専門医が3名おり、外科専門医制度関連施設に認定されています。またサブスペシャリティを各々の医師が持つようにしており、マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定読影医・TNT研修医が1名 消化器外科学会指導医・専門医が一名日本内視鏡学会認定医が一名と、それぞれが専門分野を中心にしたチーム診療をくんでいます。



● 5 病棟 ●

今回紹介する外科では、主に消化器疾患・乳腺疾患で、手術や消化器ポリープ切除後の治療・がん治療の1つである化学療法等受けられる方等が入院されています。初めての手術に対する不安や、身体上に現れる症状に対して、治療に専念できる環境や症状の緩和に努めております。

胃や腸・ヘルニアの手術・ポリープの検査等は、どのような治療の経過をたどるか、安全に経過しているかについて、患者さまと一緒に確認していくことができるようクリティカルパスのシステムを導入しています。また、医療スタッフは入院生活を安全に快適に過ごすためのお手伝いだけでなく、退院後の生活を考えた様々な指導や自助具の紹介、地域との連携（担当ケアマネージャーとの連絡調整等）などについてもチームで支援を行っています。お気軽にご相談ください。



5病棟師長 志津 由三子

● 手術室 ●

平成19年に完成した手術室では清潔感があふれる室内で手術を行っています。整形外科と外科の手術を主に扱っています。

手術室では、患者さまが安心して手術を受けられるように、術前訪問をしています。その時に手術室で行われることの説明を行い、患者さまの不安を少なくするようにしています。また患者さまのご希望を聞き、好きな音楽をBGMとして流し、温めた掛け物でお迎えをしています。訪問時に患者さまが不安に感じていることや問題となることを、病棟の看護師に伝え情報を共有しています。そこで病棟と手術室が連携し、患者さまが安心できる環境を整え手術を受けられるようにしています。今後も患者さまがリラックスして手術に臨めるよう、スタッフ一同サポートしていきます。

手術室・中央材料室師長 仲谷 恵理



ボランティア懇談会

重症心身障害病棟では、週2回の入浴日にボランティアさんに来ていただき、患者さまの髪にドライヤーをかけてもらったり、靴下をはかせてもらったりしています。また、毎月第2金曜日に、リサイクルして使用するすて布の裁断や、裁縫をしていただいたりと、ボランティアさんの存在は欠かせないものとなっています。



年に1回、ボランティアさんとの懇談会を開き、患者さまのご家族も参加し、親睦をはかりながら意見交換を行っています。今年度の懇談会では、ボランティアさんから「友達とお話ししながらできるので楽しい。また、皆さんに喜んでもらえるのが嬉しい。」「100歳までがんばりたい。」といったお言葉をいただきました。

職員や患者さまのご家族からは、「天候の悪い中も来てくれてありがとうございます。」「保護者が出られない中、皆さんに来てもらい感謝しています。」といった、感謝の気持ちが伝えられ、和やかな雰囲気での会がすすみました。

これからもボランティアさんへの感謝の気持ちを忘れずに、ボランティアさんが気持ちよく活動できる病院であり続けたいと思います。

療育指導室保育士 阿部 光子

患者・家族の皆様に参加いただく安全対策

平成19年4月より、医療法の一部が改正され、医療安全の確保に関する規定が盛り込まれ“与えられる医療”から患者自らが“参加する医療”への転換が求められています。当院でも、医療事故防止に取り組んでまいりましたが、安全への取り組みに、患者さま・ご家族の皆様に参加していただくことが重要です。患者参加型医療安全に皆様のご協力をお願いいたします。

1. 名前間違い防止

・同姓同名による誤認防止のため**診療や処置**の際は患者さんのお名前をお聞きしますので「**姓と名**」をお答えください。場合によっては「**誕生日**」をお伺いします。

・**点滴や注射**の際は、ラベルの名前を看護師と**一緒に見て確認**して下さい。

2. 薬の間違い防止

・**お薬**を渡す際は、薬包に書かれたお名前を職員と**一緒に確認**して下さい。

3. 検査間違い防止

・**採血**の時は、検体容器の名前を確認のため、基本的には患者さま自身から名乗って頂いていますが、医療スタッフが読み上げた場合には**一緒に確認**して下さい。

4. 転倒・転落事故防止

・**転倒・転落**事故防止のため、歩行や立ち上がりに不安のある方は、ご遠慮なくお申し出下さい。ご家族にも転倒・転落のリスクをお伝えし、スタッフと**一緒に安全**に向けた配慮をお願いします。

医療安全管理係長 尾形 千恵子



新型インフルエンザの動向について

1月初旬現在での新型インフルエンザの動向についてお伝えします。国立感染症研究所の発表によると、12月以降、新型インフルエンザの新たな患者発生数は減少に転じ、新年以降も減少を続けています。いくつかの地域で季節性インフルエンザ発生の報告もありますが、現在も、新型が大部分を占めており、季節性インフルエンザ流行はまだ始まっていません。散発的に新たな感染者が出ている状況ですので、もうしばらく警戒が必要です。引き続き、マスク、うがい、手洗いを励行して下さい。

新型インフルエンザワクチンの接種については、県内では12月28日以降、すべての優先対象者（65歳以上の高齢者、慢性疾患のある方、高校生以下の者、すでに1回接種を受けた小学生以下の2回目）のワクチン接種が始まっています。優先対象で、まだ接種されていない方、新型インフルエンザに感染していない方は、接種をお勧めします。当院での接種に関しては、主治医にお尋ねください。

アレルギー科医長 佐藤 一樹



平成21年度後期市民公開講座のお知らせ



子育てフォーラムを開催します。

日時：平成22年3月6日（土） 14：00～15：30

場所：四街道市保健センター

内容：1）子どもの急病時の対応について

2）予防接種について

・新しいワクチン（Hib、肺炎球菌、ヒトパピローマウイルスワクチン）

3）耳・鼻・のどで困った時の対応について

詳細は四街道市政だより及び院内の掲示にてお知らせしますのでご覧下さい。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

第一病棟部長 渡辺 博子

栄養管理室の紹介

下志津病院栄養管理室は、管理栄養士4名、調理師10名、事務職員（非常勤）1名で構成され、入院患者さんのお食事の提供・栄養管理、および入院・外来患者さまへの栄養相談を行っています。

また、病棟への食事の配膳や食器洗浄業務、一部盛り付け業務は委託業者にお願いしています。

栄養管理室の建物は平成19年夏に新築された新しい建物です。その際、スチームコンベクションオーブンを新たに導入し、手作りを生かしたメニューを少しずつ充実させていくことができました。メニューの一例としては、お赤飯、お好み焼き、蒸しケーキなどがあげられ、魚や肉の焼き物もきれいに美味しく焼き上げることができるようになり、おいしいとの声を頂いています。

当院の入院患者さまは長期入院の方も多いため、一般的な行事食だけでなく、病棟単位での行事食対応もおこなっています。その場合、患者さま代表の方や指導室の方々などと十分な話し合いを行いメニューを決定しています。

ちなみに写真のメニューは今年のクリスマスメ

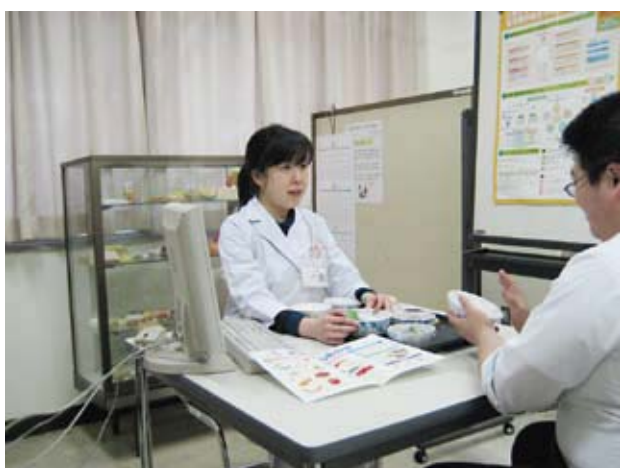


ニューです。手作りローストチキンをメインディッシュにしています。

また、飲み込みに不安のある方に対応するお食事も当院では提供させて頂いております。このお食事でも少しでも食べやすく、おいしく召し上がって頂くことができるよう日々研究を重ねております。

栄養相談では医師の指示のもと、患者さまの生活をふまえた上で、お食事等の改善点をお話させて頂いております。ご自分の食事内容等に不安のある方はぜひ栄養相談を受けてみて下さい。

栄養管理室長 岡部 司



下志津病院「秋まつり」について



動脈硬化検査風景

平成21年10月3日（土）に、大手スーパーの一画を借り、春の「看護の日イベント」とは違った切り口で、第2回目の下志津病院「秋まつり」を開催した。

第1回目で導入した、クイズコーナーも定例となり、今回新たに、「動脈硬化検査」を導入し、骨密度測定、体脂肪測定、栄養相談、健康相談、体力測定を含め、延べ857名の方に楽しんで頂けた。

管理課長 比留間 健一

からだに合った杖のすすめ

みなさんは自分のからだにあった杖を使っていますか？実際にはなんとなく使っている人がほとんどではないかと思います。今回は一般的に広く使われているT字杖についてお話ししたいと思います。

まずは杖の長さです。杖の長さを決める方法は非常にたくさんありますが、ここでは簡単な方法をのせました。是非参考にしてみてください。



- ①起立した状態で床面から股関節のつけ根あたりまでの長さ
- ②起立した状態で床面から手首までの長さ
- ③足の小指から前外側15cmの所に杖をおき、肘を約30° 曲げた時に手の平に届く長さ

いずれも、常用の靴を履いた状態で長さを決めて下さい。木の素材であればのこぎりで、アルミニウム素材であれば金のかぎりで切って調節することができます。最近では使う人に合わせて簡単に調節できるものも多く売られています。

次は太さについてのお話です。一般的に登山用やおしゃれ用のステッキなどは全体的に細くつくられていて、福祉用具のお店に並んでいる杖は比較的太くつくられています。2つを実際に使ってみて比べていただくのが一番わかりやすいのですが、もし、より安定感を求めるのであれば、太めの杖を選んでみて下さい。また、グリップ部も様々な形がありますので、握りやすいものを選択することをおすすめします。

次は杖先ゴムのお話です。杖先ゴムは消耗部分なので、気づかずに削れたまま使用されている方も結構みうけられます。すり減ったゴムのままではせっかくの安定感も軽減してしまうので、たまにチェックしてみてください。福祉用具を扱っているお店であれば換えのゴムも購入できます。あと、杖にストラップをつけておくと、お財布などを広げる時に、手首にストラップをひっかけることで両手があきますのでとても便利です。

最近では杖＝高齢者のイメージは薄くなってきました。福祉用具のお店にもおしゃれな杖が多く売られています。これからは洋服などのファッションの一部として、転ばぬ先の杖の上手な選択をおすすめします。

リハビリテーション科 浅井 紀子

巨木を訪ねて



4 天神楠

日本の巨木で最大となるのは楠であり、九州は楠の群生地である。

熊本県宇土半島は特にクスノキの巨木が多い。宇土市の細い路地をたどると、丘の上にこの楠の木がそびえる。道は狭く曲がっており、ようやくたどり着いた。巨木は中心はすでに朽ちているが枝はしっかりしており、まだまだ、元気に葉を茂らせている。巨木は、ネットや本、雑誌などでの紹介されたものから車で訪ねて行く。しかし、すぐにはわからないことが多く、地元の方に訪ねることになる。この巨木の場合も難

しかったが、地元の方に教えてもらった。その方はすぐちかくに同じような巨木あるという。たしかに立派な楠があり、うれしかった。

ニコンF90 10-24mm (10mm)

樹高、幹周不明

熊本県宇土市打越



訪ね人 : 末石 眞

外来診療担当表

受付時間

8:30~11:00

平成22年1月1日現在

区分	月	火	水	木	金
内科 (一般内科) アレルギー科 アレルギー科 アレルギー科 アレルギー科 アレルギー科	杉本 古川 岩田 富沢	杉山 篠崎 古川 末石	吉田 古川 富沢 末石	杉山 杉本 篠崎 末石	杉山 杉本 岩田 本田 小林
神経内科	(休診)	本吉 三方	本吉	(休診)	本吉 三方
小児神経科	大森	(休診)	石原	(休診)	(休診)
小児科 アレルギー科	西牟田 渡辺 中村 鈴木(修)	西牟田 根津 松浦 佐藤	山本 根津 中村 西牟田 (新患のみ)	小川 渡辺 中村 佐藤	鈴木(由) 石原 鈴木(修)
外科	一木	河野	一木	長谷川	白井
整形外科	後藤 山中	後藤 鈴木(宗)	(休診)	山中 後藤	鈴木(宗) (予約のみ)
リハビリ テーション科	三方(指定する日)				

※ 特殊外来(専門外来) 詳細は各科外来、または地域医療連携室へお問合せ下さい。

**四街道市
乳児健診**

第2・4木曜日14:00から行います。受付は13:00から15:00まで。
原則として電話予約にてお願い致します。

**四街道市
乳がん検診**

毎週火曜日・金曜日に行います。受付は13:00~17:15まで。
医事科窓口と電話にて予約受付しています。(時間変更がありますので、お問い合わせください。)

**四街道市
骨粗鬆症検診**

毎週月・水・木曜日に行います。受付は13:00~17:15まで。
医事科窓口と電話にて予約受付しています。(時間変更がありますので、お問い合わせください。)

**睡眠時無呼吸
専門外来**

毎週水曜日、14:30~17:00に行います。受付は16:00まで。

■JR 四街道駅
北口下車 徒歩8分
JR 総武本線東京駅(千葉経由)から四街道駅まで約50分

■京成臼井駅
京成電鉄京成臼井駅から千葉グリーンバス
「四街道駅行き」に乗車(約25分)「消防署前」下車、
徒歩1分

●東関東自動車道
「四街道インター」から約5分(3Km)



独立行政法人 国立病院機構 **下志津病院**

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5
電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/>
携帯サイト <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/m/>



第4号

平成22年1月発行

発行責任者 吉田 孝宣
編集委員長 末石 眞